

な～に谷っ戸ん田 5年目の34回目 - 大豆の脱穀 -

とき：平成23年12月10日(土) 9:30～16:30

ところ：小屋の下のハウス

天気：晴

参加者：久保、佐々木(利)+優聖、坂本松本(夫)、梅下+ヒナ・コウ・ジロウ、石田+ヒデ、磯、高橋、高田(妻)

(大人：8, 子供 5)

作業予定：

(1)大豆の脱穀

(2)畑作業 (ジャガイモ、大根・白菜)

作業報告：

午前

先週、雨の中ハウスに移動した大豆の脱穀を手作業にて行う。

大豆は、ハウスの中ブルーシートの上に、数本の株にまとめてさかさまに立てられていた。

奥に黒大豆、手前に白大豆。量的は、黒1・白2といったところ。

大豆はいい感じに乾燥していたが、ハウスの雨漏りのためブルーシート上にところどころ水たまりができており、一部(全体の5%以下)は水びたしの状態。

しかし、そんなことはおかまいなしにハウス内で人力脱穀作業を開始。

作業は大まかに3分隊で進行。

(1)豆をたたいて脱穀する係

(2)(1)の豆殻から取り残し分を回収する係

(3)豆殻をかたづける係

豆をたたく棒として、松本さんが金網の切れっ端みたいなのを使い出す。

こんなやつ

これがけっこう使える。豆の鞘をマルチポイントで叩くので脱穀効率が上がる。同じようなやつを探し出してきて、高橋さん、磯もばしばし叩く。黙々と作業進捗。

脱穀後の豆とゴミをより分けるために箕やざるを使ったが、あまりうまくより分けできない。やはり唐箕が必要。しょうがないので、大豆は、大きなゴミだけは取り除くが未分別状態で一旦ダンボール箱に回収する。

石田さんが豆殻で焼き芋を作り出す。楽しみができたので少し張り合いがでてきた。

そうこうしているうちに午前中が終了。完了率6割ぐらい。

お昼

各自コンビニなどでお弁当を調達してお昼。風がつめたいので小屋で食べる人多い。
石田さんから焼き芋をいただく。

午後

畑班と大豆脱穀班にわかれる。

畑班

畑班は堀之内の畑にて作業。

子どもたち5人と石田、梅下母、佐々木母、高田が堀の内の畑へ。

一部残っているジャガイモを堀る。アンデスレッドを収穫するはずが、ほとんど成長していない。

小粒数個のみの収穫。そのかわりか掘り残しのニシユタカが数株あり、合計7キロの収穫となった。

大根の土寄せをする。大きくなったものを5本ほど収穫。（参加者でわけた）

収穫は子どもたちがほとんどやってくれた。ひで&こうは落とし穴作りに精を出した。

往復1時間ほどの作業。スコップ、鍬を洗って、大豆班と合流。

大豆脱穀班

基本的には午前中と同じ作業。

人数が減った分進捗がにぶるが、なんとか脱穀作業完遂。

今日は唐箕が手配できなかったため、豆はまだ葉っぱくずなどにまみれている状態。

少し湿り気も残っており、そのまま保管すると腐ってしまうため再度ブルーシート上に広げて干すことにした。

ハトに食べられないようネットをかけてあります。（園主了解済み）

作業後にテツさんに会うことができ、次週、電動唐箕を貸してもらえることになる。

来週は大豆をきれいにできます。

機材清掃、ブルーシート洗浄をし、16:30 ごろ本日の作業を終了。

(了)

記録：磯、高田